

祝日3連休化（ハッピーマンデー）の解消に向けた動きについて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
事務局長 千葉 崇

超党派の議員連盟「海事振興連盟」が、現在は7月の第3月曜日としている「海の日」を、本来の意義を周知させるために7月20日に再固定化させるための法案を今秋の臨時国会に提出することを目指しています。

「海の日」を含む祝日3連休化は、国民の祝日の一部を月曜日に移し、土曜日および日曜日と合わせて三連休にする制度として2000年の導入以降広く国民に浸透し、旅行・レジャーを満喫するなど、働くもののワーク・ライフ・バランスや経済の活性化に寄与しています。

サービス連合では、これまでも「キッズウィーク」創設に向けた提言など、「2017～2018年度観光立国実現に向けた提言」のなかで、休日の取得しやすい仕組みづくりを提言してきました。改めて、祝日3連休化（ハッピーマンデー）の意義を認識すると共に、更なる休み方改革の推進が必要と考えます。

今後は、全国民が時期を問わず休暇を取得できる環境を目指すためにも、有給休暇を組み合わせて4日以上連休を実施する「プラスワン休暇」を活用した休暇の取得推進に関する政策提言など、休日・休暇改革の実現にむけた取り組みを進めていきます。

以上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>